

令和3年度(2021年度)授業計画				目 標	進路研究を目的とする調査・研究・表現活動をグループごとに行い、自己の進路実現を目指す。 自らの専門領域に関して、自ら課題を見つけ、学び、考えさせる能力を育てる。 主体的学びを深めるための基礎技術習得、成果発表を通じての主体的学びの伸長を支援する。 人間としてのあり方を学び、社会で良く生きるために、主体的・協働的学習により、問題解決能力を育てる。	教科書	特になし
講座名	総合的な探求の時間（3年）	科目名	総合的な探求の時間			副教材	特になし
単位数	1単位	区 分	必履修				
年 次	3年次	形 態					
担当者名	1組 小池 2組 佐々木 3組 工藤 4組 伊藤 5組 島倉 6組 森 7組 高橋 8組 植場						

学校行事	第 1 学期	遠足	＜第 1 定期考査＞	＜第 2 定期考査＞	第 2 学期	木もれ陽祭	＜第 3 定期考査＞	＜第 4 定期考査＞	第 3 学期	＜第 5 定期考査＞				
授業内容	オリエンテーション	部門別課題研究		夏季休業期間	部門別課題研究	部門別課題研究		冬季休業期間	部門別課題研究（個別活動）					
	進路に関連するテーマ設定	研究成果のまとめ（途中経過のまとめ）		部門別課題研究		研究の成果のまとめ・発表			1 年間のまとめ					
定期考査までの授業数	4 時間		5 時間				5 時間		4 時間				7 時間	

実力テスト 実技テスト 課題テスト												

評価の観点 評価方法	①自己の進路希望の変遷を把握し、具体的な進路の目標を持つことができたか。 ②自ら課題を見つけ、自ら調べ、自ら考え、主体的に判断し課題を解決しようとする能力や態度が育成されたか。 ③情報の集め方、調べ方、まとめ方、報告や発表の仕方などの学び方、ものの考え方、統合する力が身に付いたかどうか。	日常の 学習方法	興味・関心、進路等に応じて設定した部門別課題研究テーマに沿って、個人ごとに調査研究を行う。	大学受験や 発展的な内容との関連	諸大学との外部連携を図り、校内での学問紹介などの機会を利用し、自らの調査研究に活かす。
---------------	--	-------------	---	---------------------	---

令和3年度(2021年度)授業計画				目 標	人間としての在り方を学び、よく生きるために、主体的・協働的学習により問題解決能力を育てる。 体験活動を通して道徳性を養い価値判断を高め、よい生き方を主体的に選択する力を育成する。 進路の意識を高め、将来の自己の生き方を選択する能力や態度を育成する。 情報を整理しまとめる能力を育成し、培われた知識・技能を統合する力を育成し自立を図る。	教科書	特になし
講座名	総合的な探求の時間(2年)	科目名	総合的な探求の時間			副教材	一生使える探究のコツ 実践の手引き 課題研究編
単位数	1単位	区 分	必履修				
年 次	2年次	形 態					
担当者名	1組 松岡・外池 2組 野村・堀内 3組 吉岡・山下 4組 春田・中原 5組 岡部・原田 6組 伊東・柴田 7組 高塩・儀部 8組 元木・矢口						

学校行事	第 1 学期	遠足	<第 1 定期考査>	<第 2 定期考査>	第 2 学期	木もれ陽祭	<第 3 定期考査>	<第 4 定期考査>	第 3 学期	<第 5 定期考査>
授業内容	ガイダンス			グループ探求 3	夏季休業期間		グループ探求発表会（6 7 限）	個人探求 2	冬季休業期間	個人探求 7
	S D G s とは			グループ探求 4			グループ探求まとめ	個人探求 3		個人探求 8
	グループ探求 1			グループ探求 5			個人探求テーマ設定	社会人による講演会		個人探求 9
	グループ探求 2			グループ探求 6			個人探求 1	個人探求 4		個人探求 1 0
				グループ探求 7				個人探求 5		個人探求中間発表会
定期考査までの授業数		4 時間		5 時間			5 時間	4 時間		7 時間

実力テスト 実技テスト 課題テスト										

評価の観点 評価方法	①課題研究のための基礎技術を習得できたか。 ②興味・関心、進路等に応じて課題を適切に設定できたか。 ③小グループでの探究学習において、意見交換や主体的・協働的学習を積極的に行うことができたか。	日常の 学習方法	グループでの研究活動、個人での探究活動により行う。	大学受験や 発展的な内容との関連	進路希望に基づいた生き方を実現する方法を考えるとともに、連携先大学等の校内での学問紹介を活用しながら、これまでの知識や技能を統合して、設定テーマの探究を行い、進路研究を充実させる。
---------------	--	-------------	---------------------------	---------------------	--

令和3年度(2021年度)授業計画				目 標	人間としての在り方を学び、社会でよりよく生きるために、主体的・協働的学習により問題解決能力を育成する。 体験活動により道徳性を養い価値判断を高め、よりよい生き方の主体的選択力を育成する。 進路の意識を高め、将来の自己の生き方を選択する能力や態度を育成する。 情報を整理し、まとめる能力を育成し、各教科・科目等で培われた知識・技能を統合する力を育成し自立	教科書	「人間と社会」 （教育出版）
講座名	人間と社会	科目名	人間と社会			副教材	特になし
単位数	1単位	区 分	必履修				
年 次	1年次	形 態					
担当者名	1 組 加賀山・筒井 2 組 増元・嶺脇 3 組 渡辺・中野 4 組 増澤・赤石 5 組 石村・吉野 6 組 中西・山村 7 組 倉俣・佐伯 8 組 大久保・清水						

学校行事	第 1 学期	遠足	＜第 1 定期考査＞	＜第 2 定期考査＞	第 2 学期	木もれ陽祭	＜第 3 定期考査＞	＜第 4 定期考査＞	第 3 学期	＜第 5 定期考査＞
授業内容	教科「人間と社会」のねらい	支え合う社会		夏季休業期間	夏季休業中の学習成果のまとめ・発表・評価	探究活動	冬季休業期間		探究活動	
	高校での学びについて	チームコンセンサス・ワークショップ		個人による探究活動	地域社会を築く	学生図鑑オープンキャンパス			学習成果のまとめ、発表、評価	
	探究ガイダンス	探究活動（論理コミュニケーション）			防災訓練	大学訪問			学習成果のまとめ・評価	
	探究活動（論理コミュニケーション）	グループ討論、発表				探究活動（論理コミュニケーション）				
	進路ガイダンス					探究活動のまとめ 主権者教育				
定期考査までの授業数	4 時間		5 時間		5 時間	4 時間		7 時間		

実力テスト 実技テスト 課題テスト								

評価の観点 評価方法	①支え合う社会・地域社会を築くことを適切に行う能力と態度を育てることができたか。 ②学ぶことの意義・働くことの意義を考察することができたか。 ③論理的な思考方法を習得し、コミュニケーション能力を育成し、協働する態度を養うことができたか。 ④情報の集め方、調べ方、まとめ方、報告や発表の仕方などの学び方、ものの考え方、統合する力が身に付いたかどうか。	日常の 学習方法	①人間と社会 グループ単位で、防災訓練、大学訪問調査、外部と連携した体験活動を通じて、調査研究、レポート作成および発表を行う。 ②探究活動 ホームルーム全体、あるいは、ホームルーム内小集団で、論理的な思考方法やコミュニケーション力の伸張を目指して、協働的活動あるいは討論活動等を行う。	大学受験や 発展的な内容との関連	学問内容について調査研究を行い、将来の自己の進路との関わりを考え、様々な大学の入試形態について調査研究を行い、自己の進路選択を進める。
---------------	---	-------------	---	---------------------	---